

全学統一入試

(後 期)

国 語

令和 8 (2026) 年度

試験学科

経営学科

ホスピタリティ・マネジメント学科

経済学科

法律学科

国際関係学科

多文化コミュニケーション学科

現代社会学科

健康スポーツ科学科

試験時間 (60分)

解答 … 巻末

※著作権の関係上、掲載しておりません。

※著作権の関係上、掲載しておりません。

※著作権の関係上、掲載しておりません。

※著作権の関係上、掲載しておりません。

※著作権の関係上、掲載しておりません。

※著作権の関係上、掲載しておりません。

※著作権の
関係上、掲載
していません。

(萱野稔人『暴力と富と資本主義 なぜ国家はグローバル化が進んでも消滅しないのか』による。ただし出題に際して一部表記・
表現を改め、省略した箇所がある。)

※ マックス・ウェーバー一八六四―一九二〇。ドイツの社会学者、経済史学者。主著として『プロテスタンティズムの
倫理と資本主義の「精神」』、『国民国家と経済政策』などがある。

※著作権の関係上、掲載していません。

問(一) 波線部 i～iii について、カタカナの部分と同じ漢字が使われている語を次の選択肢 1～4 のうちからそれぞれ一つずつ選び、番号をマークせよ。

- i ヘイ定
 - 1 ヘイ和
 - 2 ヘイ役
 - 3 貨ヘイ
 - 4 ヘイ館
- ii ケン証
 - 1 ケン究
 - 2 ケン利
 - 3 ケン拳
 - 4 ケン客
- iii ク除
 - 1 辛ク
 - 2 地ク
 - 3 発ク
 - 4 先ク

問(二) 空欄ア～カに当てはまる語として最も適切なものを次の選択肢 1～4 のうちからそれぞれ一つずつ選び、番号をマークせよ。

- ア 1 分譲
 - 2 独断
 - 3 本領
 - 4 割拠
- イ 1 かたや
 - 2 とりわけ
 - 3 なおさら
 - 4 もつばら
- ウ 1 トータル
 - 2 オリジナル
 - 3 ノーマル
 - 4 エコロジカル
- エ 1 率いた
 - 2 赴いた
 - 3 招いた
 - 4 磨いた
- オ 1 偶発的
 - 2 本来的
 - 3 相補的
 - 4 副次的
- カ 1 示唆する
 - 2 一元化する
 - 3 基礎づける
 - 4 引き戻す

問(三) 傍線部A「刀狩りの実態はもつと違ったものだったようだ」について、それでは刀狩りの実態とはどのようなものであったのか。本文中の説明として最も適切なものを次の選択肢1～4のうちから一つ選び、番号をマークせよ。

1 民衆から武器を没収することで権力に抵抗できないようにするという刀狩りの目的が、刀狩りの現場には伝わっていなかった、ということ。

2 実際の刀狩りの現場では、鉄砲や鎗などの武具などをすでに当時の百姓は所持していなかったため、その没収自体がそもそも不可能であった、ということ。

3 諸国の百姓がさまざまな武具を持つことを禁止した刀狩りであったが、実際にはすべての武器が没収されたわけではなかった、ということ。

4 鳥獣狩猟などのためには鉄砲や鎗が必要不可欠であることを配慮して、百姓からそれらの武器を没収することは実際には見送られた、ということ。

問(四) 空欄1～Ⅲに当てはまる最も適切な表現を次の選択肢1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、番号をマークせよ。

I 1 刀狩りの目的と刀狩りの実態は密接に関連するものだったのである

2 脇に差す刀の数に差をつけることで百姓たちの武装解除を目指したのだ

3 帯刀権の禁止と民衆の武装解除はまったく別の事柄なのである

4 民衆の帯刀権の禁止は農民の暴力性を薄めるための苦肉の策であった

II 1 治安維持のために武力は必要不可欠である

2 戦場での略奪は正当な経済行為である

3 農具と武具は同等の価値を持つ

4 平和な農村はときに暴力的な戦場に変わり得る

III 1 自立した名誉ある人格であることの証

2 やがて国政へと参加するための第一歩

3 村の利益や安全を確保するためのやむを得ない手段

4 紛争を直接裁く権力を持つという統治への欲求

問(五) 傍線部B「なぜ秀吉はそのようなことをしたのか」について、その理由の説明として最も適切なものを次の選択肢

1～4のうちから一つ選び、番号をマークせよ。

1 紛争解決のために百姓がみずから武力を用いることを禁じ、そうした武力行使を大名にも認めないことによって、暴力のない平和な社会の実現をはかるため。

2 百姓がみずから暴力を行使できる権利を制限することを通じて、暴力にまつわる権利を秀吉に代表される統治権力が独占できるようにするため。

3 百姓がみずから武装し、問題があれば暴力に頼って事に当たるといふそれまでの行為を禁じることで、統治権力に抵抗できないようにするため。

4 百姓であっても大名であっても自立的に暴力を用いていた中世社会を脱するとともに、彼らが暴力に頼らない政治的主体になることをうながすため。

問(六) 傍線部C「そうした権力観」について、その内容の説明として最も適切なものを次の選択肢1～4のうちから一つ選

び、番号をマークせよ。

1 合法的に暴力の独占をはかることこそ近代国家の権力性だ、という考え方

2 刀狩りとは民衆の武装権を剝奪するための最適な手段であった、という見地

3 支配を力によって確固たるものにすることを権力は目指している、という見方

4 法的に正当な権利を人々に割り当てていくことが権力の課題である、という観点

問(七) 本文中の枠で囲まれたa～eは本来の文章の順序ではない。正しく並べ替えるとすれば、どれが最も適切か。次の選

択肢1～4のうちから一つ選び、番号をマークせよ。

1 a | b | d | c | e

2 a | e | b | d | c

3 e | a | b | c | d

4 e | c | b | d | a

問(八) 傍線部D「以上の考察は、われわれに封建制における身分制について再考することをうながすだろう」について、封建制における身分制はどのように再考できるのか。その説明として最も適切なものを次の選択肢1～4のうちから一つ選び、番号をマークせよ。

- 1 刀狩りの例からも分かるように、中世から近世にいたるまで日本の封建制および身分制は決して前近代的な制度ではなく、近代の国家制度と同様の意味を持つものであったと考えられる。
- 2 刀狩りとは武士の身分と農民の身分を明確にするために行われたが、そのように暴力をめぐる権利を制限するために身分を利用する方法は、封建制の時代にも近代にも等しく見られるものである。
- 3 刀狩りとは暴力をめぐる権利を特定の人間だけに制限し、統治権力によって管理する手段であった以上、それ以降の近世の身分制は暴力の独占によって成り立つ近代国家制度につながるものでもある。
- 4 暴力の行使にまつわる権利を新たな統治権力のもとで拡散させる刀狩りの手法は、国家だけが合法的に暴力を独占することが不可能となった近代社会においても有効であると考えられる。

問(九) 本文の内容に最もよく合致するものを次の選択肢1～4のうちから一つ選び、番号をマークせよ。

- 1 人々がみずからの武力を行使することで治安維持や紛争の解決をはかった中世の村社会では、刀を持つことはその人の自立した人間としての名誉を示すものでもあった。
- 2 刀狩りによって一般民衆の武器の所持が徹底的に禁じられたからこそ、それ以降に発生した一揆をはじめとする統治権力への抵抗も、鎮圧可能なものとなったのである。
- 3 あらゆる暴力を否定し平和を実現することが近代社会の理想である以上、秀吉がどのような意図を持っていたとしても、彼による刀狩りは近代社会への第一歩であったと考えられる。
- 4 百姓や大名が独自に武力を行使する権利を剝奪した刀狩りは、封建制・身分制を解体する結果をもたらし、それによって日本においても近代国家の制度が形成されていった。

二、問(一)～(三)の設問に答えよ。

問(一) 次の各文について、傍線部の漢字には最も適切な読みを、カタカナには最もよく該当する漢字を、それぞれ後の1～5の選択肢から一つずつ選び、番号をマークせよ。

① 著しい成長をみせた。

1	イチジル
2	アワタダ
3	クダクダ
4	メマグル
5	カイガイ

② 意気地がないことを指摘された。

1	イケジ
2	イソジ
3	イケズ
4	イコジ
5	イクジ

③ 体裁を気にして身動きがとれない。

1	タイセイ
2	テイサイ
3	テイサツ
4	ダイタイ
5	テイセイ

④ 岩場を滑降することにはためらいがある。

1	シヨウコウ
2	コツソウ
3	カツソウ
4	カツコウ
5	ナンコウ

⑤ 使役の助動詞の見分けがつけられない。

1	シトウ
2	シヤ
3	ツカイワケ
4	シヤク
5	シエキ

⑥ 宵のミヨウジヨウを一人で見つめる。

1	明城
2	明生
3	明星
4	冥星
5	妙浄

⑦ サイシンの注意をはらう。

1	碎身
2	更新
3	細心
4	最審
5	最深

⑧ 洋服のキジを集める。

1	着地
2	生地
3	筋地
4	木地
5	規地

⑨ 整備計画の白紙テツカイを発表した。

1	迭回
2	徹回
3	懲回
4	施回
5	撤回

⑩ タダちに向かわなければならぬ。

1	攻
2	早
3	只
4	徒
5	直

問(二) 次の文章の空欄A～Jに入る最も適切な語を、それぞれ後の1～15の選択肢から一つずつ選び、番号をマークせよ。

(同じものを重複して用いないこと。)

※著作権の関係上、掲載しておりません。

※著作権の関係上、
掲載しておりません。

(池上哲司『傍らにあること 老いと介護の倫理学』による。ただし出題に際して表記・表現を変更し、一部省略した箇所がある。)

- | | | | | |
|-----------|-------|------|-------|-----|
| 13 | 10 | 7 | 4 | 1 |
| 根拠を与えること | あるいは | 自動的に | 一手 | 目的 |
| 14 | 11 | 8 | 5 | 2 |
| 批判的に向かうこと | したがって | 専念 | 距離 | 同一性 |
| 15 | 12 | 9 | 6 | 3 |
| 決められたこと | 幻想 | 民主的に | 視点の自由 | 直観 |

問(三) 次のことわざ・慣用句の説明として最も適切なものを、それぞれ後の1～4の選択肢から一つずつ選び、番号をマークせよ。

① 諸手を挙げる

- 1 欲しい物を得るために相手に近づくこと。
- 2 誰にも遠慮せず大いばりで歩き回ること。
- 3 すっかり納得して積極的に同意すること。
- 4 会話の進行に合わせてしぐさを挟むこと。

② 目から鼻へ抜ける

- 1 抜け目なく、物事の判断もすばやいさま。
- 2 要点をおさえて、話をうまく伝えること。
- 3 物を探し出そうとしてひどく疲れること。
- 4 ものごとに集中せず落ち着きのないさま。

③ 尻が割れる

- 1 差し迫った事態になって突然あわてること。
- 2 隠していた悪事がおもてに出してしまうこと。
- 3 考えもなく他人の言動に強く同調すること。
- 4 話し始めるといつまでも続けてしまうこと。

④ のれんに腕押し

- 1 予想もしていないうれしいことがあって、思わず踊り出すこと。
- 2 忘れていたことを急に思い出して、あわただしく行動すること。
- 3 自分の力量や技能を発揮したくて、じっとしてられないこと。
- 4 力を入れても少しも手ごたえないこと、張り合いのないこと。

⑤ 鯛の頭も信心から

- 1 苦境から脱し、ふさわしい場所を得ることで大いに活躍するようになること。
- 2 つまらないものでも信仰の対象となればありがたく思われるようになること。
- 3 他人が信仰による利益を得たと知って、自分も実行しようと思いつつこと。
- 4 一度手に入れかけて失ったものを惜しむあまりに用心深くなっていくこと。

